

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター小鳩園			
○保護者評価実施期間	R7 年 2月 27日		～	R7 年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	R7 年 2月 27日		～	R7 年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	33
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 4月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○保護者への丁寧な対応 ・療育スタッフによる療育指導 ・特性に合わせた支援方法を考え、活動内容や参加の仕方など保護者に提案し工夫する。 ・保護者が職員にいつでも相談できる	・担任、児童発達管理責任者、療育スタッフの連携を大事にし、必要な情報は共有することを心掛ける。	・保護者の意見は真摯に受け止め、個々のケースに寄り添い、支援方法を考えていく。
2	○子どもの発達や特性に合わせたグループ編成	・パーティションやコーナー作りで部屋の空間を工夫し構造化 ・子どもの成長や発達に合わせ、必要に応じて年度途中でグループの編成を行う。	
3	○隣接保育園との連携と交流 ・遊びや年間行事の交流、合同運動会 ・小鳩園分室の運営、保育園との交流を通し、お互いの理解や学びにつながる。 ・単独通園児の延長保育	・職員間の連携、密な連絡、合同職員会 ・両園の園長副園長の定期的な会議、調整 ・分室の子どもが保育園児のクラスで遊んだり活動へ参加し交流を深める。 ・両職員が連携し延長保育の対応。	・交流や分室での保育の検証を行い、インクルーシブの育ちを保護者や地域へも発信していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○施設老朽化のための整備 ・空調、照明、水道、トイレ等	・風通しの悪さ、光の入りにくい保育室やトイレ、廊下があるため、明るいイメージがない。 ・水道が無い保育室、外への出入り口が一か所など動線の悪さがあるため、生活習慣を進めにくい。	・R8年度水道の設置予定。子どもが生活しやすい保育室の改修を随時お願いしていく。 ・トイレトレーニングなど生活習慣がしやすいよう工夫、環境作り。
2	○単独通園児、並行通園児のためのサービスが不足。(送迎サービス、延長保育など)	○時代にあったニーズに対応しきれていない。	○家庭のニーズを把握し、必要なサービスを検討。
3	○災害時の対応 ・耐震はできてるが、老朽化のため耐久性の不安がある。 ・停電、寒さ暑さ、水害時の対策。	・業務継続のための設備の不足。 ・地域住民とのつながりの薄さ。 ・地形的に川が近く、氾濫の危険。	・自家発電機、寒さ暑さ対策の設備。 ・医療的ケア児に対応できる設備の設置。 ・地域とのつながりを広げる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター小鳩園

公表日 令和7年4月10日

利用児童数 62

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	1	0	体育館的な広い空間がないです。 広いスペースが確保されているとおもいます 親の立場で発達支援の知識はあまりありませんが、先生達がそれぞれの活動に合った部屋を用意してくれて、子どもは様々な経験を積むことができていますと感じます。ありがとうございます。 活動のスペースはバッチリ。大人のトイレがとても古いので新しくしてほしい	・広い部屋を別の事業で使用するときがあり、共有が難しい。 特に天候が悪い日は、保育室の工夫をしながら楽しく過ごせるよう工夫する。 ・子どもの経験と発達の促しのためにも建物の建て替えをお願いしていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	1	2	職員が少ないと感じます。健常な子に比べて対応すべき事が多いため、職員の対応が手薄になる場面が多々ありました。親子通の時でそのような感じだったので、他のクラスで職員のみでの対応だとさらに職員の手薄感、負担がかかっているのでは、と思います。 まず何人が適切かがわからない。 我が家は双子でお世話になっていますが、毎回1人に先生が1人ついてくださって本当にありがたいです。子どもと向き合うことができるようになりました。 たくさんの角度から子供を見てもらえてとても助かるしすごいと思う	・子どもの成長のために、必要な職員の配置や関わり方を考えながら、保育している。 ・必ず1対1が必要ではない場合もある。グループの職員で連携し、小集団の経験も大事にしている。 ・園外保育や散歩などは職員で協力し、補助につくなど、安全面に配慮する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	1	0	子供にわかりやすく構造化された環境にしよう職員が努力や頑張りは感じますが、室内の設備が全体的に古いため、配慮が足りていないと思います。 目隠しがあったり、歯磨きなどのイラストがあったりとても過ごしやすいと感じます。 気が散らないような配慮がされており大人に言わないと届かない所はお願いすることを促す表示があり完璧	・施設に関して適切な整備の対応依頼をしていく。 ・老朽化についてはすぐの対応は難しいので、創意工夫しながら保育を進める。 必要な整備や施設改修は要求していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2	1	0	トイレ、廊下は寒い 室内のカーペットが清潔ではないため、定期的に業者クリーニングをするか、またはカーペットは廃止をした方がいいと思います。あと基本閉鎖的なので、各部屋に季節に応じて加湿器や空気清浄機が必要だと思います。 建物が古く、明かりも薄暗いので特にトイレに行くのが怖いようです。ただ、清掃は行き届いていて清潔感があります。 未満児の午前のおやつはいつも行っている園では出るが小鳩園では朝が遅い？ぶんおやつがないという理解で良いのかかわからないが、そういうものかと思っている。 2階のスペースを使っていましたが、トレイが暗めで怖い印象があるのか使用を控えていたように思います。	・廊下が夏は暑く、冬は寒いため、保護者が分離で過ごす時間が大変な状況を市に伝え、空調の設備をお願いしていく。 ・トイレは子どもが行きたいと思える環境作りをしたい。 ・R8年度にトイレの改修予定。 ・カーペットは年度末にクリーニングを実施している。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	3	0	0	先生によって専門的な知識と支援に偏りがある気がした。 職員不足による支援の手薄感が否めないです。 親では気づきにくい特性を普段の行動の中きら見つけてくれたり、対応方法、次はこう試してみようという提案をしていただいたり沢山支援をいただいています。 特性に合わせて、様々な角度から支援をしてくれたり助言をしてくれたりする。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	1	合っているとは思いますが、やはり職員不足による手薄感が否めないです。 必要な情報は掲示されている	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	0	0	計画を立てても、職員不足による手薄感があるため、達成も微妙な感じがします。 生活習慣の特性について細かく一緒に考えてくださり心強いです。細かな計画を立ててくださりありがたいです。 定期的に話し合いやフィードバックの時間も設けられてありがたい	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1	0	0	設定まではよいのですが、これも職員不足による手薄感が否めないです。 意見の聞き取りを細かくしてくれたり、内在的な要望も取り入れて支援内容を設定してくれる。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2	0	0	職員不足を感じるため	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	1	0	おはようの会ひとつをとっても、個に応じた参加の仕方を探って、提案して下さりありがたかった。 これも職員不足による手薄感があります。 プログラムのレベルが上がり、うちの子どものみがやりたがらなくなったことがありました。それを察知してくれてプログラムを工夫して子どもがやりやすいように改善してくれました。そこから本人が楽しそうに通所するようになり、本当に有り難かったです。 「こんなところがあるからこういう活動を増やしてみようかと思う」と先生が声を掛けてくださり、子どもにあった活動ができていますと感じます。 毎回違った活動だったり、同じものにしてもらっています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	1	0	2	隣が保育園なので、外遊びの時などに交流があります。 交流することによって同じ年代のこどもさんのことも知れてよかった	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	2	0	1	毎回丁寧な説明がありました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	2	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	1	0	0	子どもの姿を捉えて、今はこういう段階なんだ、次はここを頑張っていこうと教えてくださるので、親も見通しが持て、安心に繋がった。 話し合いができています 一緒に共通認識で考えてくださり、とても心強いです。 担任の先生だけでなく、他の先生も成長についてよく見てくれ声を掛けてくれる	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	0	0	療育の先生を含め、多様な立場の視点からアドバイスをいただいた。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2	0	0	職員による 職員不足による手薄感を感じる時があります。 職員の方々が一人ひとりの児童の特性を理解してくれていたのがいつもの行動やお話からわかりました。 通うことで育児が楽しくなりました。いつもありがとうございます。 いつも話を聞いてくれるし子供にも同調してくれるしとても寄り添ってくれている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	1	3	少ないがある 懇談会はありませんが、より話しやすい環境で、保護者同士の交流が出来る機会がもっとあってもよいと思う 先輩お母さんの話を聞く機会等、大変勉強になりました。	・月懇談会1回の懇談会は情報発信やミニ研修の場と考えている。少しでも多く参加できるよう、2日間午前午後時間に時間を分散して。保護者同士交流も広がっている。内容の検討は工夫が必要。 ・親の会やおしゃべりの会など、親同士が自由に話せる会を企画したい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2	0	0	意思決定は保護者に必ず確認をとってくださるので安心できた。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	4	3	4	情報発信は紙ベースなので、アプリやSNSでの配信があってもよいと思う アプリを使った情報発信や、タブレット端末を使った出欠確認をした方がよいと思います。	・ICT化検討、HPの充実 ・補助事業にも積極的に申請したい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	0	6	避難訓練の日に登園していないからわからないが、置き靴を用意するよう言われているので手配されていると思う きらっとの支援中に避難訓練をされたかは分かりません。	・きらっとの活動の中でも避難訓練を実施していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	1	3	今の職員の数で安全の確保が十分には行えるとは思えません。	・
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	5	職員不足による手薄感が否めません。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	2	0	0	職員不足による手薄感が否めません。 小鳩園に行く、楽しかったと常に言っている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	1	なぜ保育園以外にも通う必要があるのか、子どもがよく理解していないような気がします。 嫌がる時もあります。 先生方がとても優しくフレンドリーで話しやすいかったです。 先生と友達と遊ぶのが楽しみになってきている いつも楽しみにしており、毎日今日は小鳩園かと聞かれる	・子どもたちが笑顔で、楽しみに通えるような環境を作る努力をしていく。

満 足 度							保育園、小鳩園、小児リハ、それぞれの子どもに対する評価が異なり、仲介役となる母親の私自身が混乱する事があります。関係者が集う支援会議のようなものがあれば良いと思うこともあります。子どもの素の部分に対して見下したような発言もありましたし、課題に対して着目するあまりそれを克服しようと介入すればするほど子ども自身が苦しくならないのかなと、感じた事もありました。ただ関わりの中で、助言やヒントを頂ける部分もたくさんあり感謝しています。 本当に素晴らしい環境で利用できています。ありがとうございます。伊那市に住んでいて良かったです。 夏休み、春休み、年末年始休みなど長期休暇が多い。就労していると、祖父母など預け先がない場合は非常に困る。場合によっては親のどちらかが働き方を変えざるを得なくなりそう。保育料の負担はするのでせめて希望保育をやって欲しい。共働きの場合困る人は多いと思う。児童発達支援は保育園とは違うと言われたらそれまでだが、今の時代柔軟な対応をお願いしたい。職員不足による手薄感が否めません。	・成長ダイアリーを活用し、情報の共有や連携をしていく。 ・お盆中や年度末の希望保育を保護者の方に周知し、必要な保育を受けられるよう職員体制を作る。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センター小鳩園		令和7年4月10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	17		・療育に必要な遊具、用具の購入 ・修繕が必要な遊具の早急な整備及び安全に使えるための整備
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	24	9		・施設の改築、新築 ・照明、空調の整備 ・子どもが使いやすい保育室、部屋数 ・連絡が取りやすよう、内線の設置
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	19	14	子ども達にわかりやすい構造化された部屋や空間作り心掛けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	15	サーキット、コーナー遊びなど室内を工夫し使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	29	4	子どもがパニックを起こした際や不安で個別対応をしたい際にクーリング出来る場所がないので、パーテーションを使用し落ち着ける環境を作れるようグループで情報共有し対応を工夫	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	31	2	朝夕の振り返り、1日の活動を話し合う時間をとっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	33	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	31	2	職員会、朝会、日頃のコミュニケーションの中で都度意見を出し合い、みんなで考えて改善に取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	22	11		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	32	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	32	1	作成、公表を行った。 保護者向けに5領域の内容を分かりやすく作りお便りで配布した。	新入児もいるため、年度初めや折に触れて懇談会等で周知していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	33	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	33	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	32	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	29	4		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	33	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	33	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	33	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	33	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	33	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	27	6	夕方できない振り返りは、翌朝のミーティングで確認をする	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	32	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	33	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	33	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	33	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	33	0	保育園移行のための定期的交流 移行先の保育士が小鳩園で保育参加 移行時の引継ぎ 支援学校及び支援学級の見学、体験 学校からの園児の参観	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	33	0	学校見学、特別支援学校保護者見学で説明を受ける	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	26	6	事業所園長会、児発管、看護師の会	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	29	3	園内研修で療育スタッフから専門分野の研修を受ける。 特別支援研究会、外部研修、オンライン研修	センター全大会のメンバー、内容検討
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	30	2	専門分野以外のものは職員が交代で参加できるよう工夫	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	32	1	隣接の電北保育園との日常的交流と小鳩園分室（すいか組）運営 地域の保育園へ月1回遊びに行く。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	33	0	親御さんと情報を共有しながら、成功体験に繋がるように支援している。 子育てに不安があったり、精神的に辛い時など、様子で声を掛けて懇談を入れる。職員同士連携し、色々な考え方、また、経験を伝え合い療育、保護者対応に活かして行く。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	32	1	保育園保護者向け、小鳩園保護者向けと2回のプログラムを立て行っている。それぞれ通知で周知。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	32	1	保護者懇談会、お便り等で説明。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	33	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	33	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	33	0	家庭支援保護者支援が必要な家庭は臨床心理士による個別面談	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25	8	月2回の保護者懇談会、年1～2回の家族参観及びおしゃべりの会	保護者同士が気軽に話せる場の設定の工夫
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	33	0	家庭支援が必要な家庭や子どもの発達や就学など相談があった場合は担任や療育スタッフが時間をおかずに相談に乗る。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25	8	園だより、安心安全メール	ICT設備導入検討
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	33	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	33	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	18		地域住民とのつながる機会を作る工夫。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	32	1	毎月の避難訓練、年1回の不審者訓練	防災グッズ、保護者ヘルメットの準備。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31	2	BCP作成	保護者・職員への十分な周知
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	33	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	33	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	32	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	31	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	33	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	33	0	身体拘束および虐待防止のための研修 年に1～2回 各指針作成	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	29	4		